



®環境省  
エコアクション21  
認証番号 0009078

# 一般社団法人 環境パートナーシップ会議

## 2017 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2017 年11月1日～ 2018 年10月31日)



一般社団法人 環境パートナーシップ会議

**Environmental Partnership Council**

作成日 : 2018年11月13日

更新日 : 2018年12月11日

## □ごあいさつ

エコアクション21ガイドライン2017年版の改訂に伴い、あらためてエコアクション21への取り組み意義を確認することができました。”環境経営”と称することで、事業性や経営・マネジメントといった意識を持つことができました。

経営における課題をチャンスに変えるという気持ちで全体を俯瞰し、今後の事業発展に活かしたいと考えております。現場の代表者としての立場から見て、職員の環境意識は高くとどまっており、またSDGsを意識することで、環境問題をより広くとらえて事業に臨むことができます。

今後も積極的な取り組みに挑戦してまいります。

環境管理責任者 副代表理事 星野智子

## 環境経営方針

### < 環境経営理念 >

持続可能な社会を目指し、多様な主体をつなぐ役を果たすことで、参加による課題解決に貢献します。

### < 環境保全への行動指針 >

#### ○環境に配慮した行動指針

1. 私たちは、事業活動を遂行するに当たり、環境保全に関する法規制を遵守し、環境負荷の低減に努めます。
2. 私たちは、事業活動のすべての領域で、省資源・省エネルギー・リサイクル活動・グリーン購入を推進し、自然生態系並びに生物多様性、地球環境保全に努めます。
3. 本「環境方針」を全職員に周知するとともに、職員教育を行い、意識向上を図ります。

#### ○EPCの特色を生かした環境貢献の行動指針

1. 持続可能な社会の実現のために、異なるテーマに取り組む多様な主体がパートナーシップの取組を進めるよう支援を提供します。
2. 環境課題解決のための多様な主体のパートナーシップの取組について調査し、社会の先行的な事例としてその情報を発信し、学びにつなげます。
3. 地域への啓発・環境教育に資する取り組みを行います。
4. 政府の基金受託により、環境対応促進などに関する取り組みを行います。
5. すべての事業について、環境パートナーシップ促進に寄与するよう、企画提案・提言活動を行います。



制定日：2012年8月1日

改定日：2018年10月25日

代表理事 廣野 良吉

## □組織の概要

更新日：2018年10月5日

### (1) 名称及び代表者名

一般社団法人 環境パートナーシップ会議  
代表理事 廣野 良吉

### (2) 所在地

本部  
東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号 コスモス青山 B1F  
国連大学内GEOC事業所（地球環境パートナーシッププラザ）  
東京都渋谷区神宮前五丁目53番70号 国連大学1F

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	副代表理事	星野 智子	TEL：03-3407-8107
担当者	パートナーシッププロデュース部	山口 史子	TEL：03-3407-8107

### (4) 事業内容

「持続可能な社会を目指し、多様な主体をつなぐ役を果たすことで、参加による課題解決に貢献する。」をミッションに、環境省事業「地球環境パートナーシッププラザ(GEOC/EPO)運営」、サステナビリティCSOフォーラム等、環境パートナーシップに資する事業を実施する。2009年より、「エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業(環境省・経済産業省・総務省受託)を始めとする政府の基金に関わる管理事業を請け負う。

### (5) 事業の規模

売上高 18,436 万円

	本部	GEOC	合計
従業員 名	14 名	6 名	20 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	121.48 m <sup>2</sup>	359.159 m <sup>2</sup>	480.639 m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度

11月1日～10月31日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：一般社団法人 環境パートナーシップ会議

対象事業所：本部  
国連大学内GEOC事業所（地球環境パートナーシッププラザ）

対象外：なし

活動：「持続可能な社会を目指し、多様な主体をつなぐ役を果たすことで、参加による課題解決に貢献する。」をミッションに、環境省事業「地球環境パートナーシッププラザ(GEOC/EPO)運営」、サステナビリティCSOフォーラム等、環境パートナーシップに資する事業を実施する。2009年より、「エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業(環境省・経済産業省・総務省受託)を始めとする政府の基金に関わる管理事業を請け負う。

## □事業や製品(商品)の紹介

地域にある課題や問題意識を共有するために、多様な人や組織をつなぎ、異なる意見を持つ人々の対話の場をプロデュース。

- ・水俣病経験の普及啓発事業
- ・企業とNPOの対話セミナー
- ・持続可能な開発目標(SDGs)に関する地域円卓会議
- ・低炭素社会に関する普及啓発事業

課題解決のために必要な異なる立場の人々が参加するプラットフォームの構築、事業モデルを生み出す。参加者の関与度を高める体制をデザイン。

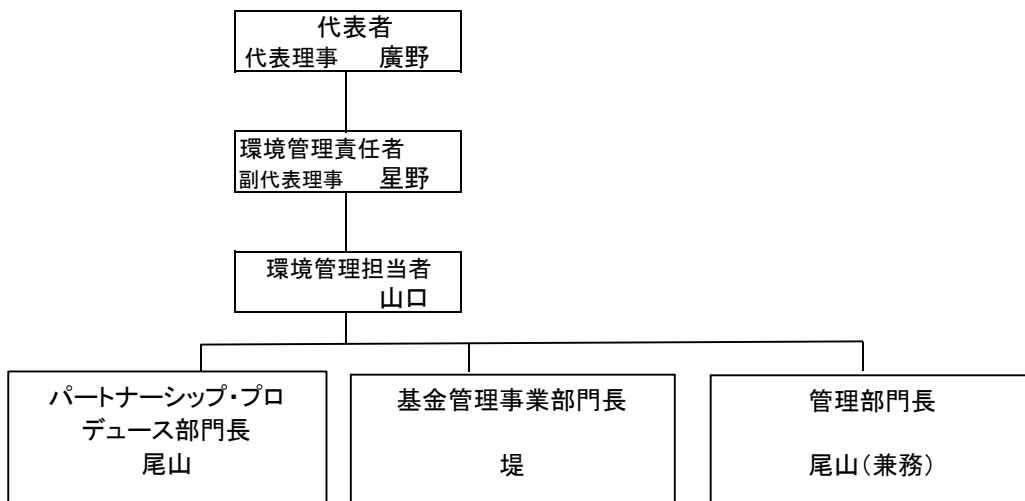
- ・地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)の運営
- ・国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)事務局
- ・持続可能な開発目標(SDGs)活用のためのワークショップ
- ・地域活性化のための協働取組加速化事業

低炭素社会の実現などを後押しするために、政府補助金による基金管理や事務局・補助事業者へ指導、監督を行うほか、補助事業の審査を実施。

- ・低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金の基金管理
- ・革新的低炭素技術集約産業国内立地推進事業補助金の基金管理
- ・環境リスク調査融資促進利子補給事業の事務局業務

持続可能な社会に向けた取組のヒントになるような先行事例、国内外の動向を収集・発信。

- ・冊子「パートナーシップで作る私たちの世界」概要編・事例編の企画制作・販売
- ・持続可能な開発目標(SDGs)の事例紹介の動画企画制作
- ・WEBサイト「サステナビリティCSOフォーラム」の運営



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	-	13,855	13,728

※二酸化炭素排出係数 0.491 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力の調整後の係数【2015(H27)年度】

※2015年度まで赤坂事務所の電気使用量を収集していたが、2015年7月末に事務所が閉鎖したため収集不可。

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2017年		評価	2018年 (目標)	2019年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	13,855	13,716	13,728	×	13,577	13,439
	基準年度比	2016年	99%	99%	×	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	13,855	13,716	13,728	×	13,577	13,439
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	%	-	90%	94%	○	90%	90%
コピー用紙購入枚数	枚	187,500	180,000	172,500	○	178,125	176,250
	基準年度比	2015年	96%	92%	○	95%	94%
WEBページのアクセス数	回	423,896	-	423,896	-	428,135	432,374
	基準年度比	2017年	-	100%	-	101%	102%

※ 化学物質は事業内容より該当なし。

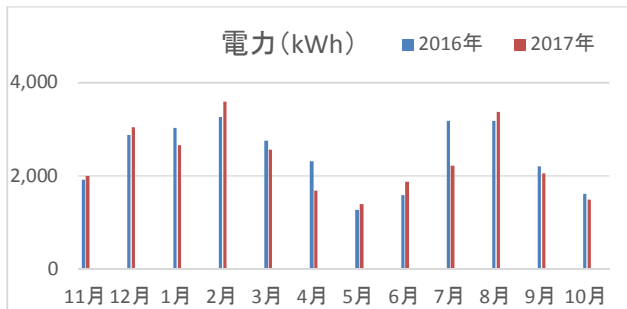
※ 水使用量、廃棄物排出量については、管理費の中に含まれている為、使用量・排出量の実績値は把握不可。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	7月・8月は、猛暑の影響により電力使用量が増加した。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	引き続き、サーキュレーターを活用し、部分暖房(ストーブ)や部分冷房(扇風機)などを積極的に使用することで、冷暖房の使用を抑える努力を継続していく。
・不要照明の消灯	◎	
・ブラインドによる温度調節	◎	
・コピー機の省エネモード利用推進	◎	冷暖房等の設備に関しては、国連大学の管理であり、法人としての対策は実施できない。次年度に向けて、2019年4月時に実施予定のPCやプリンター等の更新時に省エネ機器を選択することで、電力消費量の抑制に努める。
・退社時のパソコンモニター電源OFF	◎	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2016年	1,918	2,880	3,023	3,267	2,760	2,311	1,273	1,589	3,181	3,181	2,200	1,615
2017年	2,002	3,046	2,662	3,587	2,570	1,684	1,394	1,879	2,217	3,369	2,053	1,496

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		ごみの分別について、ごみ箱を分けて徹底している。従来やむを得ず使い捨ての紙コップを使用していたところでは、プラスチックのコップに変更し、繰り返し使うようにした。懇親会では、3010運動を実施したり、ドギーバッグを活用し食べ残しゼロを目指している。
・分別の徹底	◎	
・封筒の再利用	◎	
・書類のペーパーレス化(電子化)	○	
・ゴミの減量化	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		蛇口を全開にしたり、出しっぱなしにして洗いものをしないなどの意識付けを継続して実施し、日常的な節水に心がけている。
・食器洗い等での節水	○	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	グリーン購入は100%を目指して購入しようとしているが、100%にならない主な原因は、購入希望の備品に環境配慮商品がないことによる。
・事務用品グリーン購入比率向上	○	
・		
・		

コピー用紙購入枚数	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	PP部EPO部門ではイベント時に紙資料を配布することが多く、今年度も大型行事が多かったために、目標を上回った。従来は外注していた資料もあったが、プリンター入替による性能アップのため資料印刷を内部で実施した点もコピー用紙の購入が多くなった原因と考えられる。一方基金部が目標値の概ね半分程度で推移していることもあり、全体では目標を達成した。
・使用済み用紙の裏面利用	◎	
・両面コピー及び集約コピー機能の徹底使	◎	
・会議資料等のペーパーレス化（電子化）	△	
・コピー機の設定確認及びリセットの徹底	○	

EPCの特色を生かした環境貢献	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		今年度、EPCの特色を生かした環境貢献を計る指標として、GEOCウェブサイト、サステナビリティCSOフォーラムの外部からのアクセス数、GEOCフェイスブックのリーチ数をカウント。今年度の数値を基準年として、次年度以降の目標値を+1%として設定。
・地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）の運営等業務	◎	
・国連生物多様性の10年日本委員会事務局	◎	
・グリーンギフトプロジェクト	◎	
・水俣病の経験の普及啓発事業	◎	
・SDG s 普及啓発事業	◎	
・研修・調査事業	◎	
・基金管理事業	◎	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
環境基本法	公害防止・廃棄物の対応・環境負荷の低減
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める
生物多様性基本法	生物の多様性の保全及び持続可能な利用
消防法	防火対策
労働安全衛生法	職場における労働者の安全と健康の確保
環境教育等促進法	持続可能な社会の構築
渋谷区清掃及びリサイクルに関する条例	廃棄物の減量、適正な処理、リサイクルの推進
渋谷区みどりの確保に関する条例	緑化の推進
渋谷区きれいなまち渋谷をみんなで作る条例	清掃その他の環境美化活動に努める

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等  
特になし**

□緊急事態対応の試行・訓練

<b>緊急事態の想定:</b> 地震および火災の発生	
■実施日: 2017年11月16日(木)	■実施場所 コスモス青山ビル
■参加者: 永田、下條、小林、田仲、塚原、二重作、伊藤、高橋、田宮、山口	
<b>■実施内容:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 平成29年秋期総合防災訓練 地震初動措置訓練、通報訓練、火災発生放送、消火訓練、避難命令放送、応急救護訓練、避難誘導訓練、安全防護訓練、車両整理訓練、消防本部設営、避難状況報告、火災状況放送、鎮火放送、地震状況放送、AED操作訓練	
<b>■評価:</b> 地震および地震による火災発生を想定した訓練で避難の流れが確認できた。 AEDの操作訓練にも参加したことで、AEDの操作を学ぶことができた。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<b>■実施状況の様子</b> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

<b>緊急事態の想定:</b>	
■実施日: 2018年5月10日(木)	■実施場所 コスモス青山ビル
■参加者: 堤、永田、下條、小林、西谷、塚原	
<b>■実施内容:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 平成30年春期総合防災訓練 火災初動措置訓練、通報訓練、火災発生放送、消火訓練、避難命令放送、応急救護訓練、避難誘導訓練、安全防護訓練、車両整理訓練、消防本部設営、避難状況報告、火災状況放送、鎮火放送、地震状況放送、消火器操作訓練	
<b>■評価:</b> 火災発生を想定した訓練で非難の流れが確認できた。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2018年11月13日

目標に対しては、概ね達成することができている。環境情報を扱うという事業の性質上、普段から環境・ESD・SDGs関連の情報にも触れられるようになっていることによって職員やシェアオフィスの他団体とのコミュニケーションが図りやすく、環境意識の向上を高めることができている。  
 環境負荷削減のための行動はオフィスで浸透しており、毎週のミーティングでの環境取組をスタッフが輪番で紹介する活動は情報交流として好機会となっている。  
 本業である環境パートナーシップの促進事業の継続遂行によって、以下のとおり環境貢献活動を行うことができた。  
 ・地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)の運営  
 ・国連大学施設・立地を生かした取組  
 ・国連生物多様性の10年日本委員会事務局  
 ・政府の基金管理事業 他  
 SDGsへの社会の関心は年ごとに高まっており、講演や相談が増えるなど、組織にとっての経済的な環境も少しずつ好転している。課題としては、SDGsの普及度や関心層の関心レベルが異なるため、アプローチ方法を変えたりする必要がある。それを事業拡大のチャンスとして今後対応する必要があると感じている。

環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり WEBページのアクセス数は、2017年度実績をもとに2018年度目標を策定予定。
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



緑のカーテンの実施



廃油の回収ステーションの実施



2018年1～2月に実施したふくのわプロジェクト



SDGsワークショップ 第1回 食(7/13) 第2回 衣(9/28)をテーマに実施